



船員の確保・育成に貢献する「船員育成船舶」の第一船が竣工

～内航船員の確保・育成に貢献～

大分海運株式会社との共有船「宝栄丸(ほうえいまる)」が、「船員育成船舶」の第一番船として株式会社三浦造船所で建造され、本日、竣工しました。

平成29年6月、国土交通省がとりまとめた「内航未来創造プラン」において、船員の育成及び確保のため船員室を増設したことに伴い総トン数500トン以上となった船舶に対しても総トン数500トン未満の基準を適用するため具体的な検討を行うこととされました。

その後の検討により、平成30年8月に船員の育成及び確保に資することを目的として船員室を設け、これにより総トン数500トン以上510トン未満となった船舶(以下、船員育成船舶)については、船員配乗基準及び一部の船舶安全基準について総トン数500トン未満の船舶と同様の基準を適用できることとなりました。

大分海運株式会社は、この段階で「宝栄丸」を率先して「船員育成船舶」として建造することを決定し、今般竣工に至ったものです。

株式会社三浦造船所は、その意向を受け、省エネ性能や推進性能に優れた船型を採用しつつ、居住区を新たに増設した船舶を設計・建造しました。

船員育成船舶については、その後国において、港湾荷役(港湾運送事業法関係)や港内交通(港則法関係)に関して総トン数500トン未満の船舶として扱われるよう措置が講じられたほか、船内荷役作業主任者を選任する作業の範囲(労働安全衛生法関係)についても、これを見直す内容で関係法令に関するパブリックコメントが実施されました。

鉄道・運輸機構は、大分海運株式会社のような先駆的な共有船主の皆様によるこうした制度の活用を支援して参ります。

<本件に関するお問合せ先>

共有船舶建造支援部 技術支援課

TEL 045-222-9123

共有船舶建造支援部 建造支援課

TEL 045-222-9139

(参考) 宝栄丸(ほうえいまる)の概要

船名	宝栄丸
共同建造事業者	大分海運株式会社
船種	貨物船
総トン数	504トン
造船所	株式会社三浦造船所
竣工日	令和元年5月30日



宝栄丸の外観



宝栄丸の船員室